

平成22年度  
蒲郡市事務事業評価  
結果報告書

= 市民福祉部看護専門学校 =

平成22年度事務事業評価表

担当	市民福祉部 看護専門学校	内線等	8006
----	--------------	-----	------

事務事業名	232	教育・研究活動支援事業	
根拠法令等	蒲郡市立ソフィア看護専門学校の設置および管理に関する条例、保健師助産師看護師法、保健師助産師看護師学校養成所指定規則、看護師等養成所の運営に関する指導要領、看護師等養成所の運営に関する手引き、蒲郡市立ソフィア看護専門学校学則及び学則施行細則、蒲郡市立ソフィア看護専門学校教育計画	事業開始年度 事業期間	平成11年度・永年

総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)

基本目標	3. 健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	医療
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった		
市長マニフェスト	-		
市長マニフェストの執行状況	-		

事務事業の内容

目的 (何のために)	教育理念に掲げる「叡智」と「広い見識」を持った、地域社会にくらす人々の健康と福祉に貢献できる看護師を育成する。
対象(受益者) (誰・何を)	看護専門学校学生に対して
目標 (目指す成果)	看護師国家試験の合格、蒲郡市民病院への就職、退学者数の減
そのための 手段 (手法)	学生に十分な教育活動ができるよう、教材備品等を整備する。専任教員の研究活動を支援し、教員の質の向上に努める。病院との連携を深め充実した臨地実習を行う。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
国家試験合格者数	23名	33名	36名
蒲郡市民病院 就職者数	13名	21名	25名
退学者数(在校生数)	10名(108名)	4名(114名)	6名(118名)

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
国家試験合格率	目標	100%	100%	100%	100%
	実績	100%	100%		年度
蒲郡市民病院 就職率	目標	50%	60%	70%	70%
	実績	56.5%	63.6%		年度
退学率	目標	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%
	実績	9.3%	3.5%		年度

指標の説明

国家試験合格率	看護師国家試験合格者数 / 受験者数
蒲郡市民病院就職率	蒲郡市民病院就職者数 / 卒業者数
退学率	退学者数 / 在校生数

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	13.27人	次長 課長級	1.80人	補佐級	0.90人	係長級	0.98人	一般職	9.59人	非常勤		再任用	
H22 人工計	13.16人	次長 課長級	1.80人	補佐級	0.90人	係長級	2.76人	一般職	7.70人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	17,905	16,904	21,436
	人件費	86,105	87,511	
	合計	104,010	104,415	
財源 内訳	特定財源	20,502	21,679	21,436
	一般財源	83,508	82,736	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	学校教育法第5条「学校の設置者は、その設置する学校を管理し、法令に特別の定のある場合を除いては、その学校の経費を負担する。」により、設置者である蒲郡市長、蒲郡市が管理運営しなければならない事業である。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	過去4年において看護師国家試験は100%の合格率である。 卒業生数が定員を下回っているため、退学者の減少を図ることが必要である。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	看護師学校養成所指定規則第4条により「特定の医療機関に勤務することを入学の条件にすることや、特定の医療機関に勤務しないことを理由に不利益な取扱いをしないこと」になっているため、学校において強制することはできないので、学校の設置目的等を学生に根気強く伝えていく。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	学生にとって就職先を決める条件として職場の環境や待遇面が重要な要素となっている。学校と病院が更に連携を深めていくことが必要である。退学者の減少を図り卒業生を多くする。 国のカリキュラム改正に伴い、高度な看護教育のためにさらなる施設の充実が必要である。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	実施計画の策定により、計画的な演習用備品・設備の老朽化に伴う更新を行う。 図書室資料も経年により陳腐化が進んでおり、図書室予算の増加を図らなければ、最新の知識の学習ができなくなっている恐れがある。 早急に改善が必要である。

平成22年度事務事業評価表

担当	市民福祉部 看護専門学校	内線等	8006
----	--------------	-----	------

事務事業名	233	学校施設維持管理事業	
根拠法令等	蒲郡市立ソフィア看護専門学校の設置および管理に関する条例、保健師助産師看護師法、保健師助産師看護師学校養成所指定規則、看護師等養成所の運営に関する指導要領、看護師等養成所の運営に関する手引き、蒲郡市立ソフィア看護専門学校学則及び学則施行細則、蒲郡市立ソフィア看護専門学校教育計画		事業開始年度 事業期間 平成11年度・永年

総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)

基本目標	3. 健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	医療
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった		
市長マニフェスト	-		
市長マニフェストの執行状況	-		

事務事業の内容

目的 (何のために)	教育理念に掲げる「叡智」と「広い見識」を持った、地域社会にくらす人々の健康と福祉に貢献できる看護師を育成する。
対象(受益者) (誰・何を)	看護専門学校学生に対して
目標 (目指す成果)	施設面の維持管理業務を合理的に行い、学生が学習しやすい環境整備を行う。
そのための 手段 (手法)	学校施設の整備及び維持管理を行う。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
維持管理委託料	7,250,864円	6,998,728円	6,954,000円
光熱水費	4,787,404円	4,801,189円	5,160,000円
その他諸経費	4,273,163円	4,639,708円	4,125,000円

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
維持管理委託料増減率	目標	95%	95%	95%	95%
	実績	96.7%	96.5%		年度
電気料増減率	目標	95%	95%	95%	95%
	実績	89.5%	100.3%		年度
その他諸経費増減率	目標	95%	95%	95%	95%
	実績	97.0%	108.6%		年度

指標の説明

維持管理費用増減率	当該年度維持管理委託料 / 前年度維持管理委託料
電気料増減率	当該年度電気料 / 前年度電気料
その他諸経費増減率	当該年度その他諸経費 / 前年度その他諸経費

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.73人	次長 課長級	0.20人	補佐級	0.10人	係長級	0.02人	一般職	0.41人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.84人	次長 課長級	0.20人	補佐級	0.10人	係長級	0.24人	一般職	0.30人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	16,311	16,440	16,239
	人件費	5,276	6,252	
	合計	21,587	22,692	
財源 内訳	特定財源	329	319	1,544
	一般財源	21,258	22,373	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	学校教育法第5条「学校の設置者は、その設置する学校を管理し、法令に特別の定のある場合を除いては、その学校の経費を負担する。」により、設置者である蒲郡市長、蒲郡市が管理運営しなければならない事業である。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	現在の予算の中では、緊急を要する修繕を最優先にし、環境整備に努めている。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	現在の設備・予算では、現状を維持すること以上の成果をあげることは難しいが、委託業務の内容等について検討の余地がある。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	移転開校後12年が経過し、建物内の設備の修繕や備品類の更新が必要になってきている。年度によっては、大がかりな修繕も必要になってくる。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	実施計画の策定により、数年単位での計画的な備品・設備の老朽化に伴う更新を行っていく必要がある。委託業務については契約方法等検討していく必要がある。